

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDSあま校			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ~ 令和7年 11月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数)	37名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ~ 令和7年 11月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人ひとりの利用者の困りごとに向き合い、解決に向けて個別に対応できる。 その日の利用者の状態に合わせた支援を行うことができる。	計画に基づいた支援を基本として行いつつも、その時々の状況に合わせて臨機応変に対応するようにしている。	様々な状況に合わせた支援ができるよう、研修等を通してスタッフの対応力の強化を図り、保護者の方にアドバイスできるようにしていく。
2	原始反射の統合に向けたプログラムが多数用意されており、利用者の方に合わせたトレーニングが提供できる。	利用者1人ひとりの原始反射の残存がどのくらいあるか状態を把握し、その変化や発達の様子をスタッフ全員で共有している。	スタッフから提案するプログラムよりも、利用者本人の求めている動きを優先させることで、トレーニングの効果が最大になるようにしている。
3	専用アプリやLINEによる発信から現在の空き状況がすぐにわかり、都合に合わせて予約を取ってもらうことができる。	専用のアプリにてリアルタイムの空き状況を確認してもらえるよう、変更があった際には即時データを更新するようにしている。	専用アプリの改善を図り、より使いやすいものに改良していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団で行動することがなく、他児に合わせることや一斉指示で動くことの練習ができない。	1対1のマンツーマン指導にて個別支援を行っているため。	マンツーマン指導の良さをメリットとしているが、利用者が一緒に遊びたいと希望した場合や、その利用者が必要な学びとしている場合には、トレーニング時間の一部を使って複数人での活動も行うようしている。 また、声掛けの方法や集団で何をしたら良い効果に結びつかのか、打ち合わせや話し合いによりスタッフの知識を高めていく。
2	事業所の玄関前に大きな段差があり、バリアフリーでない。	建物の構造上の問題があり、高い段差がそのままになってしまっている。	スロープの設置等、安全性を高めるための工夫を検討していく。
3	毎回の支援後、対面での報告時に、長く時間を取ることができていない。	建物の構造上、保護者の待機場所（廊下・玄関）が狭く、落ち着いて話をすることが難しい。 1時間ごとの入替方式にて個別支援を行っているため、支援後に長い時間を取ることができない。	対面での報告の他に、専用アプリでできるだけ詳しく支援の様子を伝えるようにしている。 内装工事等により、玄関をより広くできないか検討していく。 子育てサポート加算を活用し、支援中の様子をより詳細に伝えられる機会づくりをしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		S.I.C.KIDSあま校						公表日	令和7年 12月 1日
						利用児童数	40名	回収数	37名
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	0	0	4	・広々とした場所で活動でています。	毎日の朝礼で事前に職員同士で打ち合わせを行い、部屋を広く使えるよう工夫しています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	34	3	0	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	3	0	3			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	1	0	1			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	4	0	0	・運動面だけでなく、気持ちの切り替えなどの部分でも寄り添って支援をしてくださっています。	来所時の様子や保護者様からの説明など、意識して情報を受け取り、それに応じた支援を行うようにしています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	1	0	1			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	3	0	0	・どんな部分が弱いかを話したり、体育での授業内容を話すうまくとり入れて作成してくれます。	半年に一度のモニタリングにて保護者様の困りごとなどをお聞きし、計画に反映するようにしています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	3	0	3			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	2	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	3	0	0			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5	10	17	・有益なイベントが多くあります。	地域の夏祭りの広告を掲示し、それをきっかけに参加できた利用者様もいます。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	0	2	0	・前任者の説明に間違っているところが多い。	市町村ごとに行政のルールが異なるため、都度確認を行い、正確な回答に努めています。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	1	1	1		計画の変更時には必ず保護者様に説明を行い、納得の上でご署名をいただくようになっています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	4	0	6	・研修会、何度か参加しました。勉強になります！	今後も保護者様のニーズに合わせた有益なイベントを開催できるよう工夫しています。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	33	2	0	2	・困ったこともコーチ方が上手にポジティブに言いかけてくださってありがとうございます！なわとびはS.I.C.KIDSさんのおかげで跳べるようになり、とても感謝しています！	できない部分を細分化し、スマートルスピップで励ましながら取り組んでいくことで、できるようになることをめざしています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	4	1	1		半年に一度のモニタリングにて保護者様の困りごとなどをお聞きしています。また、ご要望があれば、個別に対応しています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	2	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	6	2	7	・きょうだい支援がもっとされるといい。きょうだい支援についての勉強会やイベントなどがあるといよいと思う。 ・保護者会はあるが、きょうだい支援に関してはないと思う。	きょうだい支援についてご要望があれば、個別に対応していきます。また、いつでも相談に乗れる体制があることを、より広く周知していきます。	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	5	0	6	・アプリで色々と発信してくれています。	相談をいつでも受け入れていることを周知していきます。また、アプリからの発信だけでなく、毎回の支援後に直接お話しすることで情報伝達ができるようにしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	4	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	3	0	7	・個別に活動中の写真をLINE等で送っていただきたいです。	個人情報保護の面から写真の送付は難しいですが、子育てサポート加算を利用して、支援の様子をモニターで見て頂けるようにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	4	0	11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	5	0	18	・事業所職員は避難訓練や研修などをされていると思いますが、利用している子どもに対して、子ども自身が訓練を経験することはないと思う。個別支援なので避難訓練の実施は難しいと思うが、トレーニングの中でこの建物にいる時に災害が起きた場合の避難の仕方や注意、約束などコーチから説明を受けたり話したりする機会を設けてもよいと思う。	現在は利用者様が訓練に参加できるよう、時間帯を考慮しながら実施しています。今後はより多くの利用者様に体験してもらうことができるよう、工夫していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	3	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	3	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	0	・子どもは毎週楽しみに通っています！いつも子どもにあわせた支援内容で、好きなキャラクター・話にあわせて上手に支援して下さっています。	トレーニングを楽しく行うことができるよう、1人ひとりに合わせた個別対応をできる限りするようにしています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	0	0	0	・毎回楽しみにしています。 ・ものすごく楽しみにしています。ありがとうございます！	楽しみに来ただけますと本当にうれしいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	1	2	0	・支援時間が短い。 ・コーチは皆さんいつもニコニコでとっても感じが良いです！	支援時間内で十分に体を動かしてもらえるよう工夫し、家でできるトレーニングについてもお伝えできるようにしています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		S.I.C.KIDSあま校				公表日	令和7年 12月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		同時間に利用者が複数いる場合には、職員が声を掛け合って連携し、安全な支援に努めています。また、集中力を妨げないよう、立ち位置等を工夫するようにしています。	活発なお子様では、部屋を狭く感じてしまう場合もあるので、スペースを上手く使うことができるよう、職員間の連携を取るようにしていきます。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	基準の職員数に加え、加配の職員を配置しています。	利用者の増加に伴い、より安全で質の高い支援ができるよう、令和8年1月より職員の増員を予定しています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	タイムタイマー等の視覚的支援を活用しています。	玄関を出るとすぐに道路があるため、利用者が飛び出してしまわないよう対策を検討していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		利用者が入れ替わるタイミングで環境整備や消毒を行っています。 また、定期的な清掃を行い、清潔な状態を保つようにしています。	壁紙の一部など、破損が見られる場所について、修繕を依頼していきます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		利用者の様子や意向に合わせ、別室にて支援を行うこともできるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎月行っているミーティングにて、業務改善に関する施策の提案や、効果の振り返りを行い、PDCAサイクルを回しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様から受け取った意見をもとに、支援後のフィードバック内容などの改善に努めています。また、評価表以外にもアンケートを行い、意見をいただけるようにしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎月行っているミーティングにて意見を出し合い、業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期的に社内での研修会を行い、利用者の安全、支援の質の向上をめざしています。また、地域で開催されている研修会にも積極的に参加し、その内容を職員内で共有しています。		
支援・連携	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムはホームページ上にて公表しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		半年に一度、保護者様との面談を行っています。その内容と、指導員から聞き取った支援中の様子を合わせ、計画を作成しています。	利用者に対して直接ニーズを聞き取る機会を設け、利用者にとってより良い支援が提供できるようにしていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		計画を作成した際には、必ず職員全員が内容を確認し、意見を出し合うようにしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		毎回の支援時には担当者が計画を確認し、その内容に合わせた支援プログラムを作成するようにしています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		独自の指標をもとに、インフォーマルなアセスメントを半年ごとに行っています。また、病院などで取ったフォーマルなアセスメントの結果を保護者様からお借りし、参考にしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		地域支援・地域連携については保護者様からの希望に合わせて行っています。		

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		同じ職員ばかりが担当にならないよう考慮しながら、支援の担当者を決めています。また、毎日の終礼にてその日の支援の様子を共有するようにしています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎回の支援記録にその日取り組んだ内容を残し、次回の担当者に引き継ぐようにしています。また、声掛けを工夫したり見本を見せたりすることで、新しいプログラムにも参加してもらえるようにしています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	基本的には1対1での個別支援を中心にしています。そのため、職員とのやり取りを通してSSTを行うよう計画を立て、支援を行っています。	個別支援を中心としながらも、職員が複数参加するなどして集団に少しでも近い状況で支援が行えるようにしていきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼時に打ち合わせを行い、その日の支援内容や注意事項について共有しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼にてその日の支援内容の共有を行っています。事故やヒヤリハットについても共有するようになります。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		アプリを活用し、支援後の記録をどの職員でも確認できるよう工夫しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に一度、保護者様との面談を行っています。その内容と、指導員から聞き取った支援中の様子を合わせ、計画を作成しています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1		4つの基本活動の内容について職員間で周知を行い、支援の中に組み込めるようにしていきます。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		支援中には利用者に対して希望を聞く機会を積極的に設け、自己決定する力を育てるような支援を行っています。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		職員から事前に意見を集め、その上で参加するようになります。	
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		保護者様の要望に合わせ、担当者会議への参加や学校との情報共有など、連携するための体制を整えています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2		送迎は行っていないため、年間行事等の共有はしていません。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			保護者様の要望に合わせ、情報共有を行うようにしていきます。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		現在、対象となる利用者はいませんが、必要となった場合には保護者様の要望に合わせ情報共有を行うようにしていきます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			保護者様の要望に合わせ、相談の機会を設けるようにしていきます。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		5		保護者様の要望に合わせ、検討していきます。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		保護者様の要望に合わせ、検討していきます。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		支援終了後にお子様の様子を口頭にてお伝えし、保護者様から最近の様子を伺っています。また、支援内容はアプリにて送信し、後日確認していただけるようにしています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		定期的にイベントや講演会を実施し、保護者様に研修の機会を提供しています。また、保護者様から希望があった場合には、支援の様子を共有しながら説明や家庭でのアドバイスを行っています。	保護者会の実施時、ペアレントトレーニング等の家族支援プログラムを意識した内容作りを検討していきます。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		体験時、契約時に丁寧な説明を心がけています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		半年に一度モニタリングを行い、保護者様の意向やニーズを確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		モニタリングでお聞きした要望と目標の関連性をお伝えしながら、丁寧な説明を心がけています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		半年に一度モニタリングを行っています。また、保護者の希望に合わせてモニター等で支援の様子を共有したり、保護者様との面談を行ったりしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		月に1度定休日を設け、保護者会を定期的に実施できるようにしています。また、保護者会内に座談会の時間を設け、交流機会の提供を行っています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		その都度、速やかにお話を伺えるようにしています。	対応体制が整備されていることを周知し、より相談しやすい関係づくりに努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタグラムを利用して、日ごろの様子などを発信しています。また、LINEを用いて連絡事項をお伝えできるようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		SNSへの投稿については、事前に書面にて許可を取り、顔を隠した画像を使用しています。また、書類等は鍵付き書庫に保管するなど、プライバシーマークの規定に沿って、厳重に管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子様の発達に合わせ、見通しカードなどの視覚的支援を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	子ども会が主催する夏祭りに参加するなど、地域とのつながりを意識しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを玄関に設置し、いつでも見てもらえるようにしてあります。また、作成した年間計画に合わせて訓練を定期的に行っています。	アプリでマニュアルを確認できるようにするなど、周知の方法を検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCP訓練を年に1度行い、その際に出た意見をもとに計画の見直しを行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセメントの際に確認するようにしています。対応が必要な利用者についてはマニュアルを事務室に掲示し、周知を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	-	-		食事の提供はありませんが、必要に応じて実践しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		毎年4月に安全計画を作成し、それに合わせて定期的な研修、訓練を行っています。また、常に利用者の安全が確保できるよう、終礼にて事故やヒヤリハットの共有を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画を玄関に設置し、常に確認してもらうことができるようになっています。	安全計画を設置するだけでなく、直接口頭にて伝えたり、アプリを利用したりすることでさらに周知を進めていくようにします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎日の終礼時にヒヤリハットを共有しています。また、書面も作成し、振り返りが行いやすいようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		入社時には必ず研修を行い、年に1度社内研修も行っています。また、地域が主催する研修会にも積極的に参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束の可能性がある利用者については、個別支援計画にその旨を記載し、保護者に十分に説明を行った上で同意を得ています。	